

カレッジ通信

編集・発行
東京建築カレッジ

祝！
第22期生
修了
おめでとう
特集号

この2年間で人生は大きく変わった！

技能五輪大会で敢闘賞、今年は上位入賞めざす

第22期生 小坂 哲平さんに聞きました。



技能五輪 建築大工競技会場で奮闘する小坂哲平さん

今年も働きながらの密度の濃い学びを経験した仲間たちが東京建築カレッジから巣立っていききました。深刻な人不足が続く建設業界の中で、私たちは貴重な取り組みをしていると毎年、実感しています。人の暮らしに役立ち、より豊かにする建築の仕事は本当に魅力的です。その世界に飛び込んできた若者たちの未来が輝かしいものになることを心から祈ります。

2018年度の技能五輪（建築大工職種）で敢闘賞を受賞し、修了式（3月23日）で東京都職業能力開発協会会長賞、技能賞を受賞した小坂哲平さんに、第22期生23人を代表していただき、カレッジの2年間の思い出や今後の抱負を聞きました。

◆カレッジに入学したきっかけは？

17歳で大工を始めてから、必死に働いて仕事を覚えていたのですが、2年ほど経ったところから、このまま漠然（ぼくぜん）と仕事をしているだけではないのか、という思いが湧いてきました。本当に「いい家」をつくれるようになりたいと思いました。東京土建の新聞で建築カレッジの宣伝記事を読み、ここで勉強しようと思いました。

◆印象に残っている授業を教えてください。

実技では一年のときの「実習棟実習」。丸太の工作を経験しました。学科では橋本英夫先生と金田正夫先生の授業。家づくりにたいする考え方がかなり変わりました。

◆卒業制作のことは？

一年生のときから「鐘楼（しょうろう）」をつくりたいと思っていました。工作方法や技術もそうですが、複数の人をまとめて一つのものをつくっていく苦労や難しさを経験しました。

◆仕事との両立は大変だったでしょうね。

一年生のころは、「一人親方」として手間請（てまうけ）をしていたので、月曜から木曜まで死ぬ気で仕事をし、金曜・土曜は建築カレッジで勉強をしました。めっちゃくちゃ大変だったけれど、気が合えば何とかなると分かりました。二年になってからは、同期の仲間とのところの仕事をさせてもらっています。

◆入学を迷っている人へ

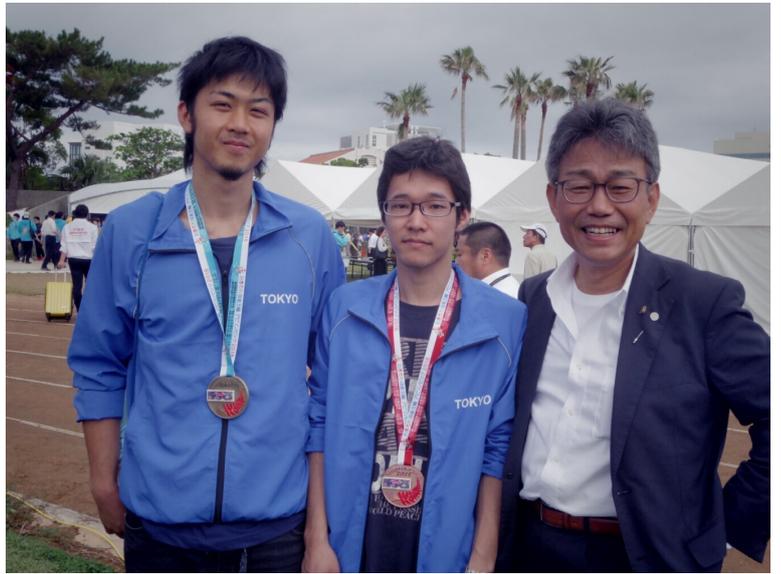
自分は妻と、子どもが3人います。会社員でもないため、社員の教育訓練費（学費）を全額負担する雇用主のための助成金制度も使えず、その結果、学費は自己負担となり、2年間、金銭的には家族にかなり迷惑をかけました。でも、多くの犠牲を払ってでも、自分で決めて勉強したことで2年間で本当に成長できたと自信を持って言えます。



また、同期や先生方など多くの仲間や職人と出会えました。仕事や家庭などとの両立は大変ですが、気合いと、理解者がいてくれれば何とかなると思います。おかげさまで、大きく変わったと思っています。

◆これからの目標

まずは家族を大事にしながらか、自分のめざす家づくりができるように努力を続けます。まずは、技能五輪でメダルを取ります。あとは、棟梁（とうりょう）となれるよう人として成長したい。



右から渡辺義久理事長、技能五輪銅賞受賞 21期生の高田慎太郎さん

第22期生 全員に聞きました これからの夢

- ☆共通質問
- ①カレッジに入っ
て良かったこと
は？
 - ②先生方や事業
主に一言
 - ③これからの夢

◇安達 雄吾
①伝統技術を学べた
ことと良い仲間に出
会えたこと。②あり
がとうございました。
③大工

◇石関 直輝
①協調性を学ぶこと
ができた。②2年間

◇奥 敏伸
①伝統技術について
学べた。②ありが
とうございました。
③一人前の大工

◇木下 絢加
①良い人間関係を
築けた！?こと。
②手道具や伝統工法
を学べたこと。
③高校の頃とは違
い、だいぶ遅刻魔

◇江村 直己
①仲間が増えた。
②ありがとうご
ざいませう。
③金を持って人
生成功する。

◇伊藤 柾人
①仕事では学べ
ないことも学べ
る。②感謝。③
建築士を取る！
技能士も取る！
恋愛もがんばる！

◇國嶋 颯祐
①感動ありがとう！
②また入学式で会い
ましょう!!③片岡
先生の跡継ぎをする
こと。

◇小坂 哲平
①本物を見て勉強で
きたこと。②ありが
とうございました。
③本
お願ひします。

◇酒田 隆
①多くの知識や技術
を学べた。仲間や先
生に会えたことが良
かった。②2年間お
世話になりました。
③責任を持って仕事
能士か？

◇小林 香菜子
①友達ができたと。
仕事を頼みできる
仲間ができたこと。
②入学当初、卒業で
きるとは思っていま
せんでした。協力し
ていただいた先生、
社長、仲間に感謝し
ます。③家のことと
仕事をうまく両立さ
せて、輝くワーキン
グママになる！

◇佐藤 裕貴
①楽しかった。②
とても楽しかった
です。③鑿(のみ)
をきれいに砥ぐ。

◇佐野 豊
①人間的にも技術的
にも確実に成長でき
たと思います。②大
変お世話になりました。
ありがとうござ
いませう。③さらな
る成長。具体的に資
格で言えば、一級技
能士か？

◇佐藤 颯人
①色々と学べて良
かった。②ありが
とうございます。
③なし。

◇篠原 昌弘
①鑿(のみ)や鉋
(かんな)を使った
ことがなかったの
で、すごく勉強にな
った。②大変お世話
になりました。③仕事
を頑張りたい。
③稼ぎたい。



二度目の挑戦で技能五輪予選通過
今年の技能五輪出場、木下絢加さん

◇鈴木 雅人
①夢ができた。②2
年間早かったね。
③腐るほど金を稼ぐ。

◇神保 遼誠
①現場で学べないこ
とがあつた。②本
当にありがとう
ございました。あり
がとうございました。
③日本で2年くら
い大工をして、海外
に行き、向こうで建
築の仕事をした。



22期 最年長の篠原さん
(右)。現在は左官。茶室
も手掛けるそうです。



修了生を代表して答辞を述べた玉江マリ子さん。テーマパークなどで見られる特殊塗装のプロです。1年次には「四方転び踏み台」作りを特訓し、競技大会に出場しました。

◇玉江 マリ子
①「自分には到底（とうてい）無理だと思われるようなことにチャレンジして、あきらめずにやりとげる」という体験を何回もできたこと。おかげで「頑張ればできることはない！」と思えるようになりました。②感謝！！に尽きます！③自然と調和した暮らしを自分で実行していった、それを発信できる何かにになりたいです。

す。子育てもしっかりやっていたいです。
◇乗京 舞子
①同じように現場で悩む仲間ができたことです。②これからもご活躍、陰ながら応援しています。③会社を繁栄させることです。

◇深澤 達朗
①仲間ができたこと。②いろいろ教えていただきありがとうございました。③お金を稼ぐ。
◇松川 昇史
①建築の知識について幅広く学べたこと。②お世話になりました。③設計で生活できるように。



重量とびの鈴木雅人さん。OJT報告会では、JR山手線の新駅「高輪ゲートウェイ」の工事現場での経験を堂々と発言していました。

◇宮澤 顕伸
①伝統構法について知ることができたこと。②ありがとうございます。③社長さま。
◇山本 哲也
①たくさん学び、皆さんと出会えたことに感謝。②とにかく感謝です。③もっと勉強して自分の身に付けていきたい。

事業主、先生方から修了生に贈る言葉

さらなる精進を！

派遣事業主代表 村口 英雄さん
(株)異人館企画開発 代表取締役

皆さんのこれからの進路は様々ですが、建設産業は一筋縄ではいかない業界。しかし、ひるまずに自分の立場で立ち向かって行ってほしい。一人ひとりのたたかひがここから始まります。まだまだこれからです。さらなる精進を祈念いたします。



何よりも大切な「やさしさ」 たしかに培われた

教務運営委員会 代表
橋本 英夫さん

ものづくりの支えになっているものは何なのか、大手の建設会社

の工事で企業理念や倫理が取り沙汰されている今、考えてみました。私は根源に置くべきなのは「やさしさ」ではないかと思ひます。人にたいするやさしさ、自然にたいするやさしさ、物にたいするやさしさ。（問題を起こした会社では）これが崩れているのではないか。

我々は一人では生きてはいけない。人と人、人と自然、人と物、物と物。こうした関係性の中で我々は成立している。だから、立場の違いをこえて、自分に向けてはきびしさを、周囲に対してはやさしさを向けることが大切なのではないかと思っています。



今後はものづくりの完成度を上げよう

みなさんの卒業制作、発表会のおきにも言ひましたが、完成度は低い。しかし、どの作品にも「やさしさ」を感じます。その点で評価したい。さらに、今年例年よりも多い、こんなにたくさんの賞を皆さんはいただいた。これは人間としてのやさしさが培われた証（あかし）ではないか。今日は少しだけほめてあげる。ただ、これからはプロなのだから、ものづくりの完成度を上げて行ってほしい。

後列右端は 西岡貴之教務部長。その他全員は今春卒業の第22期生 23人。
 後列左から 鈴木、安達、江村、奥、酒田、小坂、山本、佐藤颯、深澤、松川、佐野、宮澤。
 前列左から 神保、田代、伊藤、石関、篠原、國嶋、佐藤裕、小林、乗京、玉江、木下



「技能五輪全国大会」出場選手決定!

小坂哲平さんと木下絢加さん

厚生労働省と中央職業能力開発協会が主催して満23歳以下の若手技能者が技の日本一を競う「技能五輪」の第57回全国大会出場選手（「建築大工」職種）が決まりました。このほど、予選の結果が発表され、東京建築カレッジ第22期生の小坂哲平さんと木下絢加さんが出場することになりました。

第57回全国大会は11月15日（金）～18日（月）、愛知県で開催されます。競技は17日（日）の予定。応援ツアー実施を検討中です。

第21回公開講座〔11月3日・日曜〕講師

工学院大学 教授 後藤 治さんを訪問

3月26日（火曜）、小林謙二学校長と関谷真一講師は、第21回公開講座で基調講演を依頼した後藤治工学院大学教授/理事長を訪問、懇談しました。後藤さんは「世界の中で日本ほど職人が尊敬されている国はない。その文化が薄れてきている。（危機を打開するために）技術・技能の継承と、良い施主を育てる取り組みが大事だ」と、本校の存在と役割を高く評価しました。

進級試験、全員が無事合格

3月22日（金）、第23期生（1年生）の「技能照査（進級試験）」が江東実習場で行われました。午前中は学科試験。入学以来学んだ、各分野の基礎知識を試すものです。その終了後は、図面（展開図）の理解、墨付け、刻み、組み立ての一連の作業を時間内に

終わらせる実技試験でした。学科試験は満点が2人、90点以上が14人という好成績でした。22人全員が無事合格し、2年生に進級することができました。



1年生の授業から

（左）江東実習場で実技試験を受ける第23期生

募集活動苦戦 新入生は16人

今年4月入学の第24期生は16人です。過去最低の入学人数17人（第15期）を下回りました。就職戦線の「超売り手市場」に加え、建設業一般、特に大工など現場系職種の不人気に影響しました。伝統の木造建築を学びたいと意欲的な新入生もいますが、苦戦しました。第25期生募集で巻き返します。